

人間文化研究機構の連携研究「アジアにおける自然と文化の重層的関係の歴史的解明」が平成22年度からはじまった。この研究に参画した研究者仲間との情報交換と、研究の進展を相互に共有するための連絡誌『人と自然』を発刊することとした。各号には特集と連載を組み、自然と文化との多様な関わりを自由かつ大胆に論じることをねらいとした。創刊号の特集は「火」、2号は「音」、3号は「虫」、4号は「天」である。引き続き、皆さま方から本誌への御意見、コメントをお願いしたい。

研究代表：佐藤洋一郎（総合地球環境学研究所）

目次
CONTENTS

特集 色をめぐる人と自然
色の世界の知と技

2

色のいろいろ

佐藤洋一郎

5

鼎談◎植物が醸す色の世界

志村ふくみ・志村洋子×佐藤洋一郎

9

菓子の色

太田宗達

12

地下資源に染まる黄昏色の地球環境

中野孝教

15

対談◎色のいろいろ

白幡洋三郎×佐藤洋一郎

18

対談◎変わらない色の再現を目指して

清水靖子×佐藤洋一郎

22

花街の色—着物、化粧、色気

濱崎加奈子

連載

24

資料紹介⑤

田籠 博

26

都市の中の自然と文化⑤

板川 暢

フィールド報告

28

国内◎蛇の話をめぐって

—奄美群島における蛇にまつわる話を採録

本田碩孝

30

海外◎砂漠を緑に?—変貌する石炭の町・烏海

窪田順平